

2020年度

エコドライブ活動コンクール 優秀取組事例集



「環境にやさしい取組みをしている運輸事業者」を
認証する制度が、グリーン経営認証です。
国土交通省及び各事業団体の協力を得て、エコモ
財団が推進しています。



 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

〒102-0076 東京都千代田区五番町10番地 五番町KUビル3階
交通環境対策部 TEL:03-3221-7637 FAX:03-3221-6674

 公益財団法人
交通エコロジー・モビリティ財団

目次

- エコドライブ活動コンクールとは 1
- コンクール概要 2
- 募集結果 3
- 表彰式 4
- 受賞者一覧(大臣賞～優良賞) 5
- エコドライブ優良活動認定事業者一覧 6
- 二次審査応募事業者一覧 7
- 上位受賞事業者の取組事例紹介
 - 国土交通大臣賞(事業部門)
西濃運輸株式会社 8
 - 環境大臣賞(一般部門)
沖縄トヨタ自動車株式会社 10
 - 優秀賞(事業部門)
磐城通運株式会社 小名浜支店 12
F-LINE 株式会社 栃木物流センター 14
東和通商株式会社 16
 - 優秀賞(一般部門)
株式会社日産フィナンシャルサービス 18
メルダスシステムエンジニアリング株式会社 20
DINS関西株式会社 GE事業所 22
- エコドライブ活動の基本的な取組事例 24
- 上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介

エコドライブ活動コンクールとは

◎全国的なエコドライブ活動のコンクールを開催！

公益財団法人 交通エコロジー・モビリティ財団は、1997年に設立された「エコドライブ普及推進協議会」(運輸関係等16団体で構成)の事務局を務めるとともに、独自に様々なエコドライブを普及推進するための活動をしています。

この活動の一環として、2011年度から「エコドライブ活動コンクール」を開催して優れた取組みを行っている事業者を表彰し、その取組み内容を紹介することで更なる普及を図っています。



◎エコドライブ活動コンクールは燃費を競い合うもの？

違います!!

本コンクールは、燃費の改善状況だけを審査するものではなく、事業者のエコドライブ活動について取組内容を幅広い観点から審査するコンクールです。

優れたエコドライブ活動の事例を集めて紹介していますので、更なるエコドライブ活動の推進に役立ててください。

参加のメリットは？

● 社内のモチベーションアップ・活性化につながります

コンクールへの参加という具体的な共通目標を設定し、組織で取組むことが社員の意識向上につながります。

● エコドライブ推進の支援ツールが手に入ります

コンクールに参加することでエコドライブポスターやチラシ、参加登録証明書や優秀取組事例集など、活動を盛り上げるための様々なツールが手に入ります。

● 自社の活動レベルを客観的に評価できます

多くの事業者の中でどのレベルに位置しているのか客観的な評価を受けることができ、活動の更なるレベルアップにつながります。



審査項目	極めて優秀	優秀	標準	不十分
(1) 取組体制の整備		●		
(2) 教育の実施			●	
(3) 燃費管理	●			
(4) 活動成果		●	●	
(5) 継続実績と方策		●		
総合結果		●		

コンクール概要

- 主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
- 後援：「エコドライブ普及連絡会」(警察庁、経済産業省、国土交通省、環境省)

「エコドライブ普及推進協議会」

(公社)日本バス協会、(公社)全日本トラック協会、(一社)日本自動車工業会、(一社)日本自動車連盟、(一社)日本自動車販売協会連合会、(一社)日本自動車整備振興会連合会、(一社)全国ハイヤー・タクシー連合会、(一社)全国個人タクシー協会、(一社)全国自家用自動車協会、(一社)日本自動車運行管理協会、(一社)全国レンタカー協会、(一社)日本中古自動車販売協会連合会、(一社)日本損害保険協会、(一社)日本自動車リース協会連合会、(一財)環境優良車普及機構、(公財)交通エコロジー・モビリティ財団

● 募集対象

事業部門(緑ナンバー)	自社の車両を保有(リースを含む)するトラック、バス、タクシーなどの運輸事業者。
一般部門(白ナンバー)	移動などの業務上で車両を使用している事業者。自社の製品等を運搬している場合を含む。
ユニーク部門	エコドライブに関する独自の取組を実施しているさまざまな主体。

- スケジュール：応募期間 2020年5月7日(木)～7月1日(火)
表彰式 2020年11月26日(木)開催の「2020年度エコドライブシンポジウム」の中で表彰

- 審査：審査は審査委員会(審査委員長:大聖 泰弘 早稲田大学名誉教授)にて実施

1. 取組体制の整備	どのような社内体制(方針、目標、管理体制など)で活動を行っているか。
2. 教育の実施	従業員にどのようなエコドライブの教育・指導を行っているか。
3. 燃費管理	どのような仕組みで燃費データを収集・管理しているか。
4. 活動成果	どの程度の燃費向上を達成しているか。 燃費以外の副次的効果とエコドライブ活動に対する評価をどのように行っているか。
5. 継続実績と方策	エコドライブ活動を継続するため、どのような取組を実践しているか。

※ただし、ユニーク部門は上記審査基準によらず、エコドライブに関する特徴的な取組を評価します。

- 表彰：国土交通大臣賞(事業部門) 1件
環境大臣賞(一般部門) 1件
優秀賞 6件
優良賞 26件

- 応募費用：無料

- コンクールの流れ



募集結果

● 参加数

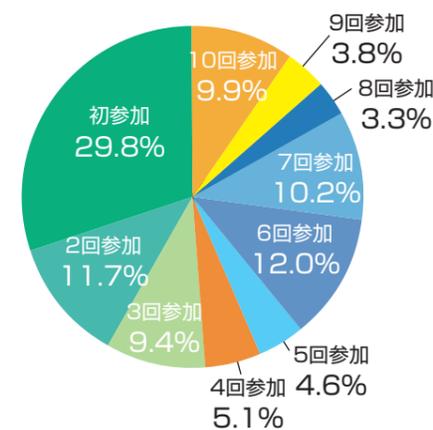
全部門

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
一次審査	393	994	64,312	31,785
二次審査	211	640	49,871	26,174

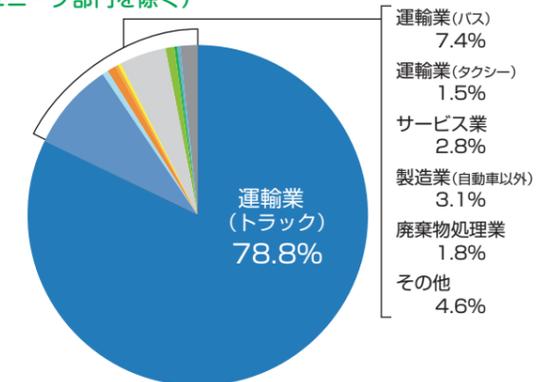
部門別

	応募件数	事業所数	従業員数	車両台数
事業部門	348	745	37,647	25,714
一般部門	44	219	23,665	4,071
ユニーク部門	1	30	3,000	2,000

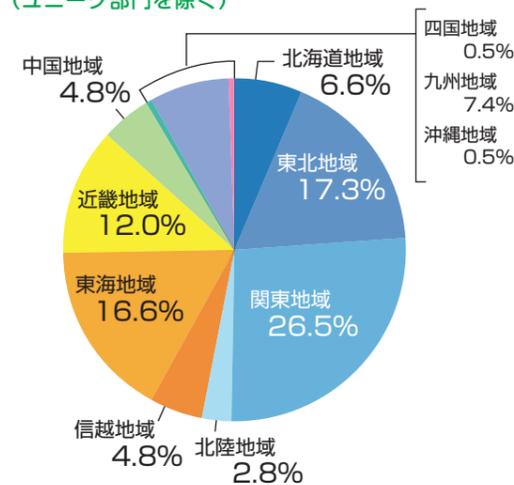
● 新規・継続応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



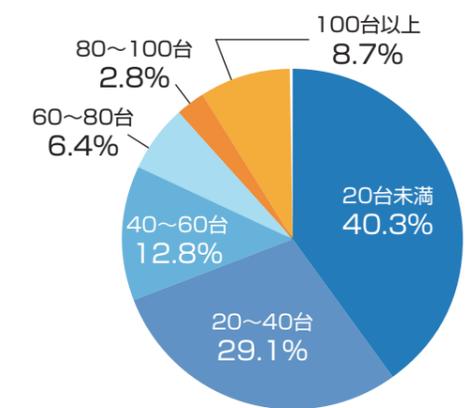
● 業種別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



● 地域別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



● 車両台数別応募件数割合 (ユニーク部門を除く)



表彰式

「2020年度エコドライブシンポジウム」にて、表彰式を行いました。

日時：2020年11月26日(木)13:30～16:00
 場所：千代田区立内幸町ホール(東京都千代田区)



前列左より (敬称略)
 早稲田大学 大聖名誉教授、環境省 水・大気環境局 小森自動車環境対策課長、沖縄トヨタ自動車(株) 野原代表取締役社長、西濃運輸(株) 高橋専務取締役、国土交通省 大高総合政策局次長、(公財) 交通エコロジー・モビリティ財団 岩村会長
 後列左より
 メルダシステムエンジニアリング(株) 黒田取締役管理部長、(株)日産フィナンシャルサービス 甲斐執行役員リース事業部長、東和通商(株) 石川代表取締役、F-LINE(株) 田中執行役員業務本部業務統括部長、磐城通運(株) 小名浜支店 白木次長



表彰式(国土交通大臣賞)



表彰式(環境大臣賞)



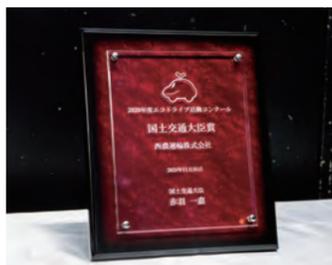
審査講評



西濃運輸(株) 取組紹介



沖縄トヨタ自動車(株) 取組紹介



記念楯

受賞者一覧

: グリーン経営認証取得事業所

国土交通大臣賞
 西濃運輸株式会社 (岐阜県)

環境大臣賞
 沖縄トヨタ自動車株式会社 (沖縄県)

優秀賞 (都道府県順)

事業部門

- 磐城通運株式会社 小名浜支店 (福島県)
- F-LINE株式会社 栃木物流センター (栃木県)
- 東和通商株式会社 (静岡県)

一般部門

- 株式会社日産フィナンシャルサービス (千葉県)
- メルダシステムエンジニアリング株式会社 (愛知県)
- DINS関西株式会社 GE事業所 (大阪府)

優良賞 (都道府県順)

事業部門

- 花王ロジスティクス株式会社 石狩営業所 (北海道)
- 南信州広域タクシー有限公司 (長野県)
- SBS三愛ロジスティクス株式会社 北海道支店 札幌営業所 (北海道)
- 株式会社ダイコー商運 (静岡県)
- 北海道中央バス株式会社 真栄営業所 (北海道)
- 株式会社エネックス 大井川営業所 (静岡県)
- 株式会社エネックス 東北支店 八戸営業所 (青森県)
- 日東運送株式会社 (愛知県)
- 三愛ロジスティクス株式会社 宮城営業所 (宮城県)
- 株式会社エネックス 中部支店 (愛知県)
- 磐城通運株式会社 小名浜支店 小名浜製錬営業所 (福島県)
- 株式会社山運 (愛知県)
- 磐城通運株式会社 植田支店 (福島県)
- 有限会社裕進運輸 (三重県)
- 有限会社美松運送 (群馬県)
- 有限会社エース 三重営業所 (三重県)
- 佐川急便株式会社 成田営業所 (千葉県)
- 株式会社ケン・トップカーゴ (滋賀県)
- 株式会社ジェイアール東日本物流 (東京都)
- 太陽運輸株式会社 (滋賀県)
- 小林運輸株式会社 本社営業所 (神奈川県)
- 菱華運輸株式会社 (兵庫県)
- 新潟陸運株式会社 (新潟県)
- 内外運輸株式会社 西原営業所 (沖縄県)

一般部門

- 株式会社ダイトク 営業部 (大阪府)
- 株式会社トヨタレンタリース熊本 (熊本県)

エコドライブ優良活動認定事業者一覧

(都道府県順)

昨年度のエコドライブ活動コンクールにて優良賞以上を受賞し、
今年度も同水準を継続している事業所および
一定レベル以上の活動をしていると評価された事業所を認定するものです。



事業部門

株式会社エネックス 北海道支店	(北海道)	日本トラック株式会社	(神奈川県)
株式会社丸運トランスポート札幌	(北海道)	平沢運輸株式会社 磯子営業所	(神奈川県)
株式会社エネックス 東北支店 青森営業所	(青森県)	上越運送株式会社	(新潟県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 北東北支店 岩手営業所	(岩手県)	インパックスロジスティクス株式会社	(新潟県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 南東北支店 東北物流課	(宮城県)	星崎運輸株式会社 富山営業所	(富山県)
SBS三愛ロジ東日本株式会社 東北中央支店 迫営業所	(宮城県)	星崎運輸株式会社 金沢支店	(石川県)
カメイ物流サービス株式会社 多賀城営業所	(宮城県)	のいちバス株式会社	(石川県)
株式会社エネックス 新潟支店 庄内営業所	(山形県)	松葉倉庫運輸株式会社	(静岡県)
磐城通運株式会社 平支店	(福島県)	有限会社クリヤー梱包	(愛知県)
磐城通運株式会社 植田支店 火力営業所	(福島県)	平野商運株式会社	(愛知県)
磐城通運株式会社 湯本支店	(福島県)	小西運送株式会社	(三重県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 福島営業所	(福島県)	菱化ロジテック株式会社 長浜営業所	(滋賀県)
茨城流通サービス株式会社	(茨城県)	南海バス株式会社 井高野営業所	(大阪府)
株式会社トレンディ茨城 本社営業所	(茨城県)	株式会社福田物流	(大阪府)
株式会社エステーシステム 草加営業所	(埼玉県)	ニシリク株式会社 本社	(大阪府)
株式会社ロジバルエクスプレス	(東京都)	株式会社エネックス 西日本支店 姫路営業所	(兵庫県)
有限会社古川商事運輸 本社営業所	(東京都)	株式会社エネックス 西日本支店 水島営業所	(岡山県)
相川運送有限会社	(東京都)	陸照運輸株式会社 水島営業所	(岡山県)
株式会社ヒサゴサービス	(東京都)	南国輸送株式会社 鹿児島石油営業所	(鹿児島県)

一般部門

ネットトヨタ山形株式会社	(山形県)	株式会社エコワスプラント	(東京都)
さいたま市役所	(埼玉県)	森永乳業株式会社 首都圏支社	(東京都)

二次審査応募事業者一覧

(都道府県順)

事業部門

幸楽輸送株式会社 札幌事業部 札幌営業部 輸送課	(北海道)	山王運送株式会社 本社営業所	(新潟県)
株式会社エネックス 北海道支店 苫小牧営業所	(北海道)	早川運輸株式会社 新潟営業所	(新潟県)
日晶運輸株式会社 本社営業所	(北海道)	株式会社ヒスコム 砺波LC営業所	(富山県)
株式会社エネックス 北海道支店 石狩営業所	(北海道)	花王ロジスティクス株式会社 金沢センター	(石川県)
北海道中央バス株式会社 新川営業所	(北海道)	敦賀観光バス株式会社 本社営業所	(福井県)
北海道中央バス株式会社 滝川営業所	(北海道)	平沢運輸株式会社 竜王営業所	(山梨県)
札幌第一観光バス株式会社 本社営業所	(北海道)	平沢運輸株式会社 飯田営業所	(長野県)
北海道中央バス株式会社 札幌東営業所	(北海道)	長野石油輸送株式会社 本社営業所	(長野県)
北海道中央バス株式会社 札幌北営業所	(北海道)	花王ロジスティクス株式会社 更埴営業所	(長野県)
空知中央バス株式会社 岩見沢営業所	(北海道)	早川運輸株式会社 松本営業所	(長野県)
北海道中央バス株式会社 色内営業所	(北海道)	株式会社田中運輸 裾野営業所	(静岡県)
北海道中央バス株式会社 平岡営業所	(北海道)	株式会社楠南ツバタ 静岡営業所	(静岡県)
北海道中央バス株式会社 石狩営業所	(北海道)	有限会社彦坂興業 本社営業所	(愛知県)
北海道中央バス株式会社 江別営業所	(北海道)	株式会社オーエストランス 本社営業所	(愛知県)
北海道中央バス株式会社 旭川営業所	(北海道)	豊中運輸株式会社 本社営業所	(愛知県)
カメイ物流サービス株式会社 すまいる物流部 盛岡営業所	(岩手県)	株式会社大杉運輸 本社営業所	(愛知県)
カメイ物流サービス株式会社 エネルギー物流部 盛岡営業所	(岩手県)	花王ロジスティクス株式会社 日進営業所	(愛知県)
カメイ物流サービス株式会社 一般物流部 盛岡営業所	(岩手県)	株式会社アスラック 飛島営業所	(愛知県)
株式会社エネックス 東北支店	(宮城県)	佐川急便株式会社 名古屋南営業所	(愛知県)
花王ロジスティクス株式会社 仙台営業所	(宮城県)	花王ロジスティクス株式会社 稲沢営業所	(愛知県)
株式会社エネックス 東北支店 秋田営業所	(秋田県)	星崎運輸株式会社 本社営業所	(愛知県)
SBS三愛ロジスティクス株式会社 山形営業所	(山形県)	株式会社NBSロジナル 中日本エリア 中部支店 三重営業所	(三重県)
株式会社北福島タクシー 本社	(福島県)	株式会社ファイン流通 本社営業所	(三重県)
株式会社エステーシステム 水戸営業所	(茨城県)	中川運輸株式会社 本社営業所	(三重県)
高塚運送株式会社 本社営業所	(茨城県)	株式会社エネックス 四日市営業所	(三重県)
株式会社明和油送 鹿嶋営業所	(茨城県)	滋賀観光バス株式会社 長浜営業所	(滋賀県)
筑波運輸株式会社 本社営業所	(茨城県)	滋賀観光バス株式会社 甲西営業所	(滋賀県)
株式会社エネックス 茨城営業所	(茨城県)	滋賀観光バス株式会社 八日市営業所	(滋賀県)
平沢運輸株式会社 石橋営業所	(栃木県)	滋賀観光バス株式会社 京都営業所	(京都府)
株式会社東配 本社営業所	(埼玉県)	銀鈴タクシー株式会社 本社	(京都府)
青翔運輸株式会社 本社営業所	(埼玉県)	滋賀観光バス株式会社 大阪営業所	(大阪府)
日通児越運輸株式会社 児玉営業所	(埼玉県)	株式会社ヤマガタ 大阪営業所	(大阪府)
佐川急便株式会社 羽生営業所	(埼玉県)	花王ロジスティクス株式会社 堺営業所	(大阪府)
株式会社明和油送 埼玉営業所	(埼玉県)	大阪トベットロジスティック株式会社 本社	(大阪府)
花王ロジスティクス株式会社 岩槻営業所	(埼玉県)	株式会社ダイトク 柱本物流センター	(大阪府)
株式会社エネックス 関東LNG支店 袖ヶ浦営業所	(千葉県)	株式会社エネックス 西日本支店	(大阪府)
平沢運輸株式会社 市原営業所	(千葉県)	千里山バス株式会社 本社営業所	(大阪府)
平沢運輸株式会社 千葉営業所	(千葉県)	佐川急便株式会社 此花営業所	(大阪府)
レンゴーロジスティクス株式会社 千葉営業所	(千葉県)	株式会社藤急エクスプレス 東大阪営業所	(大阪府)
株式会社エネックス 関東支店	(千葉県)	イー・アル株式会社 本社	(大阪府)
花王ロジスティクス株式会社 沼南営業所	(千葉県)	SBS三愛ロジスティクス株式会社 近畿支店 サプライ配送課	(大阪府)
東京共同ロジテム株式会社 本社営業所	(東京都)	ケーサービス有限会社 三木事業所	(兵庫県)
多摩運送株式会社 全社	(東京都)	株式会社摂津清運 神戸営業所	(兵庫県)
株式会社エネックス 関東支店 八王子営業所	(東京都)	株式会社JAFメディアワークス 関西営業所	(兵庫県)
株式会社メッドトラスト東京 本社業務部	(東京都)	花王ロジスティクス株式会社 尼崎営業所	(兵庫県)
株式会社川口商事 東京営業所	(東京都)	福住運輸倉庫株式会社 本社営業所	(奈良県)
株式会社ニヤクコーポレーション オペレーション統括グループ	(東京都)	花王ロジスティクス株式会社 岡山東センター	(岡山県)
花王ロジスティクス株式会社 八王子営業所	(東京都)	徳山通運株式会社 車両センター	(山口県)
SBSリコーロジスティクス株式会社 物流センター厚木	(神奈川県)	花王ロジスティクス株式会社 坂出営業所	(香川県)
大光陸運株式会社 川崎営業所	(神奈川県)	株式会社サンエストランテック 長崎事業所	(福岡県)
株式会社アスカ・コーポレーション 厚木支店	(神奈川県)	株式会社サンエストランテック 八代事業所	(福岡県)
国際自動車株式会社横浜 横浜本社営業所	(神奈川県)	株式会社サンエストランテック 福岡事業所	(福岡県)
日京運輸株式会社 鶴見営業所	(神奈川県)	株式会社サンエストランテック 北九州事業所	(福岡県)
花王ロジスティクス株式会社 川崎営業所	(神奈川県)	株式会社エネックス 西日本支店 九州営業所	(福岡県)
上野輸送株式会社 本社	(神奈川県)	松藤グループ 松藤商事株式会社	(福岡県)
株式会社エネックス 関東支店 川崎営業所	(神奈川県)	株式会社サンエストランテック 大分事業所	(福岡県)
F-LINE株式会社 厚木営業所	(神奈川県)	花王ロジスティクス株式会社 福岡北営業所	(福岡県)
フライスター物流株式会社 厚木営業所	(神奈川県)	株式会社ランクルーズ 本社営業所	(福岡県)
GreenBox株式会社 横浜営業所	(神奈川県)	大和物流株式会社 佐賀営業所	(佐賀県)
株式会社エネックス 新潟支店	(新潟県)	SBS三愛ロジスティクス株式会社 九州支社 九州中央支店	(佐賀県)
東西運輸株式会社 東港営業所	(新潟県)	株式会社トキハ物流サービス	(大分県)
第三貨物自動車株式会社 本社営業所	(新潟県)	株式会社ユタカ産業 本社営業所	(鹿児島県)
花王ロジスティクス株式会社 新潟ロジスティクスセンター	(新潟県)		

一般部門

リコージャパン株式会社 埼玉支社	(埼玉県)	清水長金属工業株式会社	(京都府)
昭和産業株式会社 本社	(東京都)	株式会社木村衛生 大正事業所	(大阪府)
ダイキン工業株式会社 サービス本部 中部サービス部	(愛知県)	久屋産業株式会社 本社・第2工場	(福岡県)
テクノイト株式会社	(愛知県)	株式会社メディクリーン	(福岡県)
ダイキン工業株式会社 名古屋ビル	(愛知県)	株式会社オオマス 本社	(熊本県)

上位受賞事業者の取組事例紹介



西濃運輸株式会社

所在地：岐阜県大垣市田口町1番地
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：121
 従業員数：12,909名
 車両数：9,786台
 活動実績：14年



活動のレベルアップを図る取組

2006年からエコドライブ活動をスタート。2012年よ
**燃費向上と事故削減を目標とする「エコ安全ドライ
 ブ」**活動にリニューアルし、今年で15年目に突入。さら
 なる燃費向上と事故削減を目指し、独自の「社内インス
 トラクター制度」を活用した教育制度や、有効な取組を全社
 に共有する「モデル店所制度」など、会社全体のエコド
 ライブ活動のレベルアップを目的とした取組を実践。

エコドライブ活動の成果

2006年度比

**18.9%燃費向上
 (大型車)
 28.6%削減
 (重大事故)**

受賞事業者の声

2度目の最優秀賞の受賞とい
 うことで、社員一同自信を深
 めることができました。環境へ
 の配慮と安全運転を両立し、
 さらなる努力を続けます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・安全/環境方針にて「エコドライブ=安全運転」としてエコ安全ドライブを推進	社内イントラネットで目標・計画を周知
	組織・体制	・各店所の店所長が責任者としてエコ安全ドライブを推進	
	目標・計画	・毎年開催される全国店所長会議にて、エコ安全ドライブ活動の基本政策と定量的な目標を発表	
教育の実施	周知・説明		自社のオリジナル資料を使用
	点検・整備	・全ドライバーの日常点検に加え、各店所駐在の工務課による定期点検を実施	
	環境問題	・地球環境問題に関する啓発として全車両に「COOL CHOICE」のステッカーを貼付	
燃費管理	教育計画	・研修での受講内容を各店所にて共有	専用の携帯端末を使用し給油時にドライバー自身で燃費データを入力
	教育資料		
	教育記録	・教育実施記録とともに受講者のレポートを保管し、研修に活用	
活動成果	外部セミナー	・日野自動車株式会社より講師を招いて研修を実施	活動の成果は毎月分析後、全社に発信・共有
	マイカー教育	・社内ポスターにてマイカーのエコ安全ドライブについて啓発	
	燃費目標	・毎年目標燃費を設定し、取組内容とともに全社に共有	
継続実績と方策	燃費分析	・毎月開催されるエコ安全ドライブ推進委員会にて燃費データを分析	「エコ安全ドライブ5か条」のステッカーを全車両のドライバーが見える位置に貼付
	燃費活用	・社内イントラネットに掲載することで、競争意識を醸成	
	過去履歴	・活動開始時からの全燃費データを保管	
継続実績と方策	燃費向上	・2006年度比で18.9%燃費が向上(大型車)	活動成果は毎月分析後、全社に発信・共有
	事故管理	・事故件数の他に事故支払総額を管理	
	成果の周知	・「九都都市エコドライブセミナーinさいたま」にて講演など	
継続実績と方策	対外活動	・「九都都市エコドライブセミナーinさいたま」にて講演など	「エコ安全ドライブ5か条」のステッカーを全車両のドライバーが見える位置に貼付
	社員評価	・通年で目標を達成した店所を表彰	
	活動実績	・2006年4月より活動開始	
継続実績と方策	活動見直し	・毎月、改善傾向、物量、気候などを考慮し、適宜見直し	エコ安全ドライブ5か条
	独自工夫		
	認証登録	・2002年よりISO14001を取得	
継続実績と方策	エコカー等	・ハイブリッド車は全体の12.7%	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

全社でエコドライブに取り組む工夫

エコと安全を一体的に推進する「エコ安全ドライブ」活動

安全・環境方針にて「企業市民として常に安全を最優先に、環境問題にも積極的
 に取り組む姿勢」を掲げ、2012年よりエコドライブ活動を燃費向上と事故削減を目標
 とした「エコ安全ドライブ」活動にリニューアル。エコ安全ドライブ5か条の実践を基
 本に、エコドライブと安全運転の両面を一体的にとらえた活動に取り組む。

さらに、この活動に会社全体で取り組むため、総務部、安全推進部、輸送品質部、
 運行部、監査役より横断的に選出されたメンバーで構成された「エコ安全ド
 ライブ推進委員会」が活動を牽引。



エコ安全ドライブ5か条

教育の実施

評価ポイント

エコドライブのスキルアップを目指す社内教育制度

自社内で行うレベルの高いドライバー教育

2016年より、社内の教育制度として「安全推進インストラクター制度」を導入。
 ドライバーコンテスト全国大会出場経験者を中心に、研修を受講し試験をパスした
 ドライバーが資格を得られ、所属店所の指導を随時実施。当初56名だったインス
 トラクターも現在は約6倍に増加。スキルの高いインストラクターを増やすこと
 で、自社内でのレベルの高いドライバー教育を実現させるとともに、「真のプロド
 ライバー」のすそ野を広げていく。

さらに、インストラクター資格取得者を対象に、日野自動車株式会社と連携した
 「省燃費インストラクター講習」も実施。インストラクターのスキルアップを図
 るとともに、さらにレベルの高いドライバー教育を目指す。



省燃費インストラクター講習

活動成果

評価ポイント

優秀ドライバーと好事例を社内外に周知

優秀ドライバーの表彰とノウハウの共有

毎月、前年同月比で無事故かつ最も伸長率の高いドライバーを、セールスド
 ライバーと路線ドライバーの各部門で優秀ドライバーとして社内ポスターやホ
 ームページにて紹介。全社のエコドライブ技術向上を目指し、ノウハウやエコ
 安全ドライブで心掛けている点なども掲載。

また、ホームページは社内だけでなく、家族や顧客も閲覧可能なため、ド
 ライバーのモチベーションアップにもつながっている。



エコ安全ドライバーの紹介ポスター

継続実績と方策

評価ポイント

効果的な事例を全社に共有する取組

達成実績のある効果的な取組を全社に共有する「モデル店所」制度

燃費目標達成に向けた取組を全社に共有するモデル店所を、四半期ごとに各エ
 リアより1店所選出。選ばれた店所は目標達成を目指して3か月間エコ安全ド
 ライブ活動にさらに注力し、毎月エコ安全ドライブ推進委員会に報告書を提出。
 3か月のうち2か月目標を達成できればモデル店所卒業となるが、未達成の場
 合は次の3か月も引き続きモデル店所継続となる。

また、継続するモデル店所があっても次の3か月でエリア内から新たな選出が
 必要のため、モデル店所ばかりにならないようエリアも指導に力を入れている。
 期間中の有効な取組などの情報は、エリア内をはじめ他店にも水平展開する
 とともに、報告書を基に毎月の推進委員会にて原因の仮説や検証なども実施。

モデル店所取組結果一覧



沖縄トヨタ自動車株式会社

所在地：沖縄県浦添市勢理客4-18-1
 業務内容：サービス業
 拠点数：44
 従業員数：1,210名
 車両数：933台
 活動実績：8年



地域特性を活かし、社員のやる気を引き出すエコドライブ活動

2011年のエコ宣言をきっかけに、2012年よりエコドライブ活動をスタート。交通事故の防止と沖縄の自然環境を次世代に残すことを目指し、エコドライブ活動に取り組む。

社内だけでなく社外にも波及性の高いエコドライブ活動を積極的に実施。顧客に加えて社員も参加できるエコドライブコンテストや地域独自の走行シーンを考慮した目標設定など独自の取組が特徴。

エコドライブ活動の成果

2011年度比

27.5%燃費向上
事故件数23.1%削減
(保険適用の事故)

受賞事業者の声

この度、2度目の最高賞を受賞し、身に余る光栄でございます。受賞後は地元新聞社2紙でも取り上げられ、多くのお祝いお言葉を頂き、エコドライブ活動をサポートしている企業様からは、さらなる講習会の依頼を頂戴しました。クルマを生業にしている私たちがからできる活動を今後も展開していきます。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・年度方針書にエコドライブの項目を明記し全社員に配布	対前年比3%改善の年間燃費目標を設定
	体制・目標		
教育の実施	点検・整備	・年1回の点検および半年に1回のオイル交換を義務付け	
	環境問題	・エコドライブ10のすすめを参考にした啓発ポスターを作成、掲示	毎月エコドライブのテーマを決め、教育資料を各店舗に配布し活用
燃費管理	教育資料		
	教育実施	・新入社員に向け、エコドライブ研修を実施	
活動成果	燃費管理	・燃費管理サイトにて、各個人で自身の燃費を管理	燃費目標は全社目標に加え、車両条件を考慮し個人(個車)ごとに設定
	燃費目標		
継続実績と方策	燃費向上	・2011年度比で27.5%燃費が向上(HV2000cc以上)	独自に発行している情報誌にてエコドライブ推進ページを掲載
	事故管理	・2013年度比で54.5%事故が減少	
活動実績	対外活動		年度方針発表会にて「燃費王」ランキング上位を表彰
	活動実績	・2012年より活動開始	
エコカー等	活動実績	・社有車/試乗車の約9割はHV車もしくはアイドリングストップ車	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

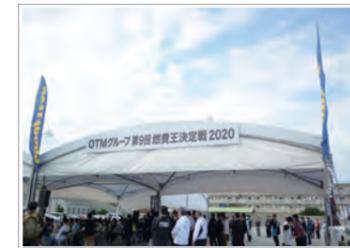
評価ポイント

社外にも良い影響を与えるエコドライブ活動

お客様も社員も360°でエコドライブを普及

2020年度より、活動をグループ展開し、OTMグループとして約1,200人規模協同のエコドライブ活動を開始。グループ全体にエコドライブ活動を推進することで、「燃費王決定戦」の活動周知や募集範囲を拡大するなど、波及性の高いエコドライブコンテストがさらにレベルの高い取組に昇華。

さらに「PHV 大人の自由研究」と題し、2年間の月別燃費やソーラー充電への考察などをまとめたレポートを作成した顧客もいるなど、同社のエコドライブ活動は対外的にも大きな影響を与えている。



燃費王決定戦2020

燃費管理

評価ポイント

地域の特性を考慮したモチベーション維持の取組

渋滞など走行地域の状況を考慮した燃費目標を設定

沖縄トヨタ自動車が開催する燃費管理サイト「燃費王」では、社員一人ひとりにアカウントが設けられており、業務時だけでなく自家用車での通勤時の燃費管理にも活用。

沖縄では那覇市などの市街と郊外では、渋滞により燃費に大きな差が生じるため、設定する店舗や住所によって渋滞を考慮した個人燃費目標を算出。燃費目標達成率が走行環境に左右されにくくなっている。



燃費管理サイト「燃費王」

活動成果

評価ポイント

自社実績や分析した燃費データを活用した対外活動

出張講習会など企業向けエコドライブサポートを実施

各店舗のエコドライブ担当者が企業向けエコドライブ講習会を開催。講習会后、申し込みがあった企業には実際に訪問し、日常点検や実車を使ったエコドライブ講習、座学講習などを実施。

燃費管理サイトで収集したデータをもとに燃費の分析を行い、訪問・面談などを通して結果のフィードバックやアドバイスを提供。過去実績は24社にのぼり、自社の活動実績をもとに、他社のエコドライブ活動のサポートにも注力している。



エコドライブ講習会

継続実績と方策

評価ポイント

社員のエコドライブ意識向上につながる表彰制度

競争意識を高めるランキング表示と社内表彰

燃費管理サイト「燃費王」を活用し、各個人がスマホやPCで自身の燃費を管理。給油ごとに個人目標や車両のカタログ燃費との比較が可能のため、振り返り材料として活用。入力した燃費は集計し、社内ランキングを作成しており、サイトトップにて周知。競争意識を高め、エコドライブ活動への積極的な参加を促す。さらに、燃費結果の優秀者を全社員の前で表彰することで、モチベーションアップにもつながっている。



社内表彰



磐城通運株式会社 小名浜支店

所在地：福島県いわき市泉町滝尻字橋本50-5
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：95名
 車両数：77台
 活動実績：14年



コミュニケーションを重視したエコドライブ活動

2005年よりエコドライブ活動をスタートし、活動当初から2004年度比20%の燃費向上を目標に設定。取組当初から順調に燃費が改善し、現在は**ドライバー間での燃費のバラつきをなくすことを重視**しエコドライブを推進。
 ドライバー同士の交流や意見交換、ノウハウの展開を大切にしており、講習会で習得した内容を横展開する場を設けるなど会社全体で積極的にエコドライブに取り組む。

エコドライブ活動の成果

2005年度比
30.5%燃費向上
 (普通車)
無事故継続
 (重大事故)

受賞事業者の声

これまで続けてきた活動が評価され、とても光栄です。この度、福島県トラック協会の広報誌にて優秀賞を受賞した記事が掲載されました。今後も従業員一丸となりエコドライブ活動を実践したいと思います。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・理念や環境方針をドライバー休憩所に掲示	異常時には、点検整備連絡シートを使用して迅速に対応
	組織・体制	・エコドライブ推進担当者などの具体的な役割内容まで明示	
教育の実施	目標・計画	・環境行動計画で達成時期を設定、年間を通じて計画を策定	教育実施記録は議事録と合わせて写真も保管
	周知・説明	・燃費目標と環境行動計画を社内に掲示	
燃費管理	点検・整備	・空き時間を利用した地球環境問題の教育活動を実施	3%の燃費向上を掲げ、車両ごとの燃費目標を設置
	環境問題	・本社から提供される資料を基に、毎月ドライバー教育を実施	
活動成果	教育計画	・社内作成資料と各団体が作成した資料を併用	事故件数や修繕費の経年データを管理
	教育記録	・外部セミナー マイカー教育 ・管理者、ドライバーともに「グリーン経営講習会」を毎年受講 ・教育資料を活用して教育を実施	
継続実績と方策	燃費目標	・ドライバーが日報に燃費を記録	グリーン経営取組状況評価によって前年の取組を評価し、未達成項目などは次年度の計画に盛り込む
	燃費管理	・事務所が独自システムでデータ管理	
活動成果	燃費分析	・CO ₂ 排出量実績などを社内掲示	個人燃費実績表
	教育活用	・活動開始時から現在までの燃費データを車両ごとに算出、保管	
活動成果	過去履歴	・2005年度比で30.5%燃費向上(普通ディーゼル車)	個人燃費実績表
	燃費向上	・毎月本社より、全店の燃費実績を受取	
活動成果	事故管理	・「福島議定書」に毎年参加(全社として優秀賞を受賞)	個人燃費実績表
	成果の周知	・10月に燃費を競うコンテストを開催し、個人・店所を表彰	
活動成果	活動実績	・2005年7月より活動開始	個人燃費実績表
	活動見直し	・エコドライブ推進状況会議を年2回開催	
活動成果	独自工夫	・グリーン経営認証は継続して取得(永年表彰)	個人燃費実績表
	認証登録	・最新規制適合ディーゼル車を導入する計画	

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント エコドライブ意識を根付かせる工夫

エコドライブ項目の唱和などで目標達成の意識を高める

エコドライブ活動開始時に「エコドライブ推進12項目」を独自に制定。毎日の朝礼でエコドライブ項目を唱和、燃費目標などを記した資料を事務所やドライバー休憩所に掲示することで、エコドライブの意識を高める。
 また、環境方針などが明示されたグリーン経営カードを配布。交付リストも作成しており、全社員に漏れなく配布していることを確認。社員はいつでも内容を確認でき、エコドライブや環境について意識できるよう常にグリーン経営カードを携帯。



エコドライブ推進12項目

教育の実施

評価ポイント 会社全体にエコドライブのノウハウを展開

「体験講習会」での学びを他のドライバーにも展開

毎年、「エコドライブ体験講習会」に参加。実技講習では3kmのコースを走行し、走行後は通常の走行時とエコドライブ走行時の燃費差を比較。
 また、「エコドライブ体験講習会」は一度に20人までの参加となるため、管理者が講習参加者を決定し毎年メンバーが入れ替わりで受講。講習に参加したドライバーは他のドライバーに向けて受講した内容について発表。会社全体にノウハウを共有するとともに、発表を通じて講習参加ドライバーが講習内容の理解を深める。



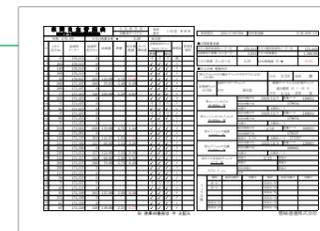
エコドライブ体験講習会

燃費管理

評価ポイント 燃費と点検整備状況をドライバーが自己管理

車両自主管理表を用いた燃費管理と点検整備

燃費管理のため、ドライバー全員に車両自主管理表を配布。給油時に計算した燃費結果だけでなく、毎日の点検項目やオイルの交換予定日なども記載することで、点検整備漏れを防ぐ。さらに各車両ごとに設定した燃費目標も記載しており、給油ごとの燃費記録時に目標達成状況を把握でき、エコドライブの意識づけを図る。
 また、毎月最終営業日の作業終了後、満タン給油を行う月初月末法をルール化しており、正確な燃費測定が可能。



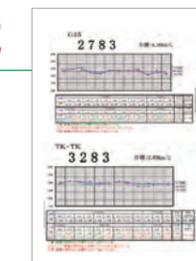
車両自主管理表

継続実績と方策

評価ポイント ドライバー同士が閲覧可能な燃費データを活用した取組

個人の燃費データを共有し、ドライバー同士が教えあう文化を醸成

グラフ化した個人燃費実績を休憩所の入り口に掲示。分かりやすく燃費データをまとめることで現状の燃費実績をドライバーが一目で確認可能。
 また、自分以外の燃費結果も把握することができるため、どのような点を気をつけると燃費が向上するかなどをドライバー同士で教え合う文化を醸成。エコドライブに関するコミュニケーションが活発に行われる仕組みを構築することで、会社全体としてエコドライブ活動のモチベーションを向上させる。



個人燃費実績表



F-LINE株式会社 栃木物流センター

所在地：栃木県佐野市伊勢山町1414-1
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：1
 従業員数：22名
 車両数：12台
 活動実績：16年



データ分析を活用したエコドライブ・安全教育制度

2004年よりグリーン経営認証を受け、エコドライブ活動をスタート。翌年からデジタルタコグラフを導入し、速度・エンジン回転数の基準を設けるなど積極的にエコドライブ活動を実施。
 現在は「デジタルタコグラフデータを活用したドライバーの個別指導」を行うなどエコドライブ・安全教育に注力。また、2020年度より新たな波状運転指数を導入。等速運転などの項目を追加し、エコドライブの新たな評価法として取組に活用。

エコドライブ活動の成果

2009年度比
21.3%燃費向上
 (大型車)
無事故継続
 (重大事故)

受賞事業者の声

エコドライブ活動を継続して行ってきた成果で優秀賞を受賞することができました。また、荷主様にもお褒めのお言葉を頂戴いたしました。この受賞に恥じない様、これからもエコドライブ活動を継続し、更なる向上を目指します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	・ISO14001活動に基づいてエコドライブ活動を実施	事業所チーム単位で目標を管理できる目標設定フォームを活用
	組織・体制	・環境保全管理責任者をトップとしてエコドライブ推進体制を構築	
教育の実施	目標・計画	・毎年、環境教育としてエコドライブ教育計画を策定	年間の環境教育スケジュール策定
	周知・説明	・点検整備連絡シートを運用	
燃費管理	環境問題	・環境方針の中で、環境目標として地球環境問題について啓発	毎月の燃費とともに、期ごとの車両別燃費も管理
	教育計画	・トラックメーカーなどのエコドライブ講習資料を活用	
活動成果	教育資料	・教育記録報告書を保管	月次のエコドライブ状況について朝礼などで伝達
	教育記録	・ディーラーを講師に招きドライバーコンテストを実施	
継続実績と方策	外部セミナー	・[乗用車のエコドライブテキスト](エコ財団)を使用し乗用車のエコドライブ教育を実施	エコドライブ状況
	マイカー教育	・会社全体での燃費向上目標および車種別の燃費目標を設定	
エコカー等	燃費目標	・各ドライバーが「燃費管理表」に給油ごとの燃費を計算/記入	アイドリングストップ&スタートシステムやエコタイヤなどを装着
	燃費管理	・年間の燃費実績をグラフ化	
活動実績	燃費分析	・月次のミーティングにて結果を周知	エコドライブ状況
	教育活用	・2002年度比で30.4%燃費が向上(大型車)	
活動実績	過去履歴	・事故種別/年度別で事故件数を一元管理	エコドライブ状況
	燃費向上	・エコドライブステッカーを車両に貼り付け、活動を啓蒙	
活動実績	事故管理	・表彰制度の設定	エコドライブ状況
	成果の周知	・2004年より活動開始	
活動実績	対外活動	・活動継続のため、進捗管理や定期的な内部監査を実施	エコドライブ状況
	社員評価	・2011年にISO14001を取得	
活動実績	活動実績		エコドライブ状況
	活動見直し		
活動実績	独自工夫		エコドライブ状況
	認証登録		
活動実績	エコカー等		エコドライブ状況

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

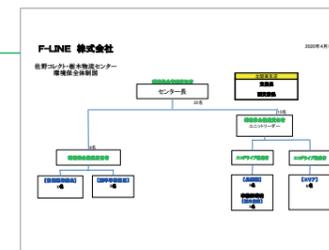
評価ポイント

運行の特徴に合わせたエコドライブ活動ができる仕組みづくり

グループの特徴に合わせたドライバー指導

各拠点に環境保全推進責任者を置き、その下に2名のエコドライブ推進責任者を任命。長距離配送とエリア配送でグループを分け、各燃費データなどを用いたドライバー指導を実施。走行距離の差による燃費の違いを考慮し、グループに合わせた指導を行う。

運行の特徴に合わせた指導が行えるよう拠点ごとに細かくエコドライブ推進者を設置することで、より効果的なエコドライブ活動の指導や実施ができる体制を構築。



環境保全体制図

教育の実施

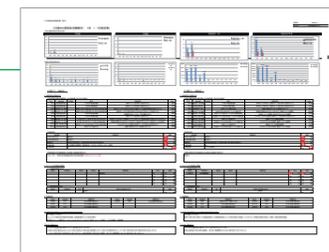
評価ポイント

デジタルタコグラフのデータ分析と活用

推進責任者によるデータ分析と教育への活用

2005年より、全車にデジタルタコグラフを導入し、急加速・急減速・速度オーバーのデータを取得。ドライバーがわかりやすいよう、取得データを基に推進責任者が分析し、結果をレポート化およびグラフ化して周知。急挙動や速度オーバーの多いドライバーには個別に指導を行うなど、教育に活用しているほか、現状の把握や今後の方針にも活用。

分析したデータを基に計画の立案から現場での実践、教育まで行うことで質の高いエコドライブ活動を推進している。



エコドライブ教育の活動報告書

教育の実施

評価ポイント

コンテストでの実践と講習会での振り返り

ドライバーコンテストと講習会の開催

UDトラックス株式会社のUDエクスペリエンスセンターにて、ドライバーコンテストと講習会を2日間開催。1日目は各支店での選抜試験をクリアしたドライバーを対象としたコンテストを、2日目はディーラーを講師として、全ドライバーを対象にエコドライブを含む安全運転や日常点検などの実技と座学の講習会を実施。

コンテストでは点検や運転の実技から、学科試験まで行っており、運転や日常点検のノウハウだけでなく、専門知識の習得も促している。さらに、2日目の講習会では、日常点検の解説や模範運転の実技講習などを通し、コンテストの振り返りを行う。



ドライバーコンテスト

活動実績

評価ポイント

エコドライブ活動の意欲向上を目的とした表彰制度

チーム一丸となって取り組む「エコドライブキャンペーン」を開催

エコドライブ活動のマンネリ化を防止するため、夏季・冬季の年2回、独自の取組として「エコドライブキャンペーン」を開催。

3チームに分かれてチームごとに燃費目標や行動目標を設定しており、共同責任でのモチベーションアップを目指す。チームの燃費は統一フォーマットにてまとめてグループ目標の進捗を管理。燃費実績や運転評価点を基に、個人表彰と併せてグループ単位での表彰も実施。チーム内のドライバー同士で教えあう文化にもつながっている。

エコドライブキャンペーン入力フォーマット



東和通商株式会社

所在地：静岡県富士市津田192番地11
 業務内容：運輸業(トラック)
 拠点数：2
 従業員数：33名
 車両数：36台
 活動実績：8年



ドライバーの主体性を重視した取組

会社全体の取組として活動を推進できるよう、エコドライブに関する方針を全社員に配布する経営計画書に記載。また、少人数の班体制でエコドライブ活動に取り組み、ドライバーが一人ひとり積極的に活動に参加できる仕組みを整備。

また、運転を可視化して評価できるテレマティクス機器を導入。年次、月次で行う「**ドライバー表彰制度**」などを取り入れ、モチベーションアップを図りながらエコドライブ活動を推進。

エコドライブ活動の成果

2005年度比
6.8%燃費向上
 (普通車)
無事故継続
 (重大事故)

受賞事業者の声

地道な活動が評価され、優秀賞を頂き大変光栄です。弊社応接室に「優秀賞受賞楯」を飾っており、来社された皆様にお褒めの言葉を頂いております。現在、対外活動に向けた施策も検討しており、更なる向上はもちろんですが、自社に留まらないエコドライブ活動への取組を新たに行って参ります！

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	理念・方針	組織・体制 目標・計画 周知・説明 点検・整備	環境問題	環境保全活動推進体制に基づき活動 ・年間の環境行動計画を策定 ・エコドライブに関する方針や目標を経営計画書に明記し、周知 ・各項目にて点検整備方法を明確に提示	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
	教育の実施	教育計画	教育資料 教育記録 外部セミナー マイカー教育	燃費目標 燃費管理 燃費分析	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
燃費管理	燃費目標	燃費管理 燃費分析	燃費管理	燃費分析	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
	燃費管理	燃費管理 燃費分析	燃費管理 燃費分析	燃費分析	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
活動成果	燃費向上	燃費向上 事故管理	燃費向上 事故管理	燃費向上 事故管理	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
	活動成果	燃費向上 事故管理	燃費向上 事故管理	燃費向上 事故管理	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
継続実績と方策	活動実績	活動実績 活動見直し 独自工夫	活動実績 活動見直し 独自工夫	活動実績 活動見直し 独自工夫	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布
	継続実績と方策	活動実績 活動見直し 独自工夫	活動実績 活動見直し 独自工夫	活動実績 活動見直し 独自工夫	エコドライブに関する記載のある経営計画書を全社員に配布

エコドライブ活動 主な応用取組

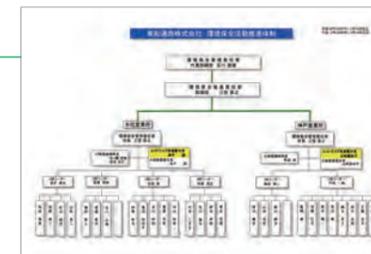
取組体制の整備

評価ポイント

一人ひとりが主体的にエコドライブ活動に取り組める工夫

エコドライブに関する方針や目標を経営計画書に明記

エコドライブに関する方針や目標、実施項目などを経営計画書に明記して全社員に配布。社長から全社員へ経営計画書の内容を説明し、さらに各営業所の朝礼での経営計画書の読み上げを実施。会社の方針や目標を周知徹底することで、一人ひとりがプロドライバーとして高い意識を持ち、会社全体として積極性や主体性を持ってエコドライブ活動に取り組む企業文化を醸成。



環境保全活動推進体制

教育の実施

評価ポイント

エコドライブ技術のノウハウを共有する仕組みを定着

ノウハウを相互に共有するグループ討論会

班ごとでエコドライブや安全運転のノウハウを教えあう文化が根付いており、ドライバー間で燃費改善やアクセルを踏み込まなくても安全に合流できる確認方法などの情報交換が、日常的に行われている。

また、班ごとのグループ討論会も行っており、安全・エコドライブの診断ができるテレマティクス機器の点数アップ、事故削減、燃費改善などについて議論。エコドライブのノウハウなどを積極的に展開するよう促すことにより、ドライバーのモチベーションアップを図る。



グループ討論会

継続実績と方策

評価ポイント

エコドライブ意識を向上させる取組

テレマティクス機器を活用し優秀ドライバーを毎月表彰

年に1回、全営業所合同で行われる研修会にて、テレマティクス機器のエコ・安全点数トップのドライバーや燃費目標値達成者を表彰。

さらに、2019年より新設されたテレマティクス機器の診断結果による表彰制度では、評価ポイントの異なる3種類の賞を設定し、1か月間のデータを基に毎月表彰を実施。多くのドライバーに受賞の機会を設け、エコドライブ・安全運転の意識向上につなげる。



月間表彰

継続実績と方策

評価ポイント

目標の達成意識を高める工夫

ドライバー自らが班・個人のエコドライブ目標を設定

年に1回の合同研修にて、エコドライブの改善点などについてグループ討議を実施。その結果を基に、次年度の行動目標4項目(テレマティクス機器のエコ・安全点数、燃費、事故、不適合)を班ごとに設定。班内の連帯感を強め、チーム意識を持ってエコドライブに取り組む。

また、各ドライバーにテレマティクス機器の運行データを配布し、改善点などの分析に加え個人でも行動目標を設定。自分の運転を分析し、計画、実行するまでのPDCAサイクルを励行出来る環境を構築。

班別目標	項目	目標値	目標達成のための行動目標
R1/R11	エコ	98点	休憩を確保にとる
R2/R03	安全点数	以上	
R2/R07			
R1/R12	燃費	3.4km/l	グリーンゾーンで運転し、アイドリングストップする
R2/R01	事故	0件	ゆとりある運転
R2/R06	不適合	0件	後退時降速
R2/R10	(付-1)	0件	

グループの年間行動目標



株式会社日産フィナンシャルサービス

所在地：千葉県千葉市美浜区中瀬2-6-1
 WBGマリヴウエスト14階
 業務内容：金融・保険業
 拠点数：37
 従業員数：738名
 車両数：175台
 活動実績：5年



模範となる安全運転行動とエコドライブを推進

模範となる安全運転行動とエコドライブを実現するために2015年より社内での取組をスタート。行動規範として掲げられている環境理念・環境方針・事故削減をテレマティクスを有効活用したエコドライブの習慣化で実現。
 さらに、自社リース顧客に対して社内教育で使用する独自の講習資料を顧客向けセミナーで活用したり、**独自コンテストを開催し、積極的に自社の安全運転行動、エコドライブのノウハウを啓蒙。**各種のデータを社内イントラネットやオンライン会議で共有しタイムリーな情報共有を推進。

エコドライブ活動の成果

2015年度比
15%燃費向上
事故件数64.7%削減
(すべての事故)

受賞事業者の声

社員一丸となって取り組んだ成果を評価いただき「優秀賞」を受賞できたことはとても光栄に思っております。この取組をさらに推進し当社のみならず、お客様にも広く普及させていただきたいと考えております。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	行動規範に基づく「環境保全・保護」「交通安全」を全社員に徹底
	体制・目標	役員を筆頭に部長幹部メンバーを含めた、役割と責任が明確な組織体制を確立
教育の実施	点検・整備	社用車の燃費情報・事故削減活動資料を毎月イントラネットに配信
	環境問題	社内イントラネットにて掲載している環境保全/保護項目内で低燃費車や電気自動車の利用を促進
燃費管理	教育資料	運行日報に走行距離・給油量を記載し走行データを社内イントラネットで公開
	教育実施	社内講習後に受講者アンケートを実施し、結果は関係部署への報告や次回の講習会にて活用
活動成果	燃費目標	顧客向けにエコドライブを含む「交通安全ニュース」を毎月配信(社内でも活用)
	燃費向上	2015年比で10%の燃費改善を目標として明記
継続実績と方策	燃費向上	2015年度比で15%燃費が向上(2000cc以下)
	事故管理	2015年度比で事故件数が64.7%減少(すべての事故)
活動実績	対外活動	全車両にテレマティクスを導入
	活動実績	2015年より活動開始 エコカーやEV車を導入
エコカー等	エコカー等	テレマティクス
	独自工夫	個別無事故連続日数キャンペーンを実施

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント

エコと安全の両面を意識した教育の実施

社内イントラネットを活用した行動規範(環境理念・環境方針)の周知

社員がエコと安全を常時意識できるよう、環境保全・保護方針に基づいた模範となる安全運転行動規範を、社内講習会での周知に加え全社員が閲覧可能な社内イントラネットに掲載。
 また、業務時だけでなく、日常生活でのエコドライブの実践や環境への配慮を呼びかけ、社員の環境意識を醸成。
 さらに、交通モラルや安全運転知識、交通事故が起こった場合の正しい対処などを指導し、社員の交通安全意識の向上につなげる。



環境保全の行動規範



教育の実施



評価ポイント

対象者に合わせた社内エコドライブ講習と顧客へのエコドライブ活動の啓蒙

オンラインで独自のエコドライブ・交通安全講習を促進

子会社である日産プラザソル株式会社と連携し、エコドライブや安全運転に関する独自の講習資料を作成。エコドライブの基本理論からエコドライブでなぜ事故リスクが低減するか、エコドライブ・安全運転の習慣化を目指すためのテレマティクスの活用方法を講習で説明。全国の拠点とオンライン講習を促進し、運転者・管理者など受講対象者別に有効な講習プログラムを構築。
 また、顧客向けに交通事故防止セミナーを開催。エコドライブと事故削減の相関を具体的に明示し、エコドライブの習慣化にテレマティクスの活用を推進。



社内講習資料



活動成果



評価ポイント

自社内だけでなく顧客のエコ・安全意識を高める工夫

顧客向けに「エコ&セーフティーコンテスト」を実施

2013年より顧客向けの「エコ&セーフティーコンテスト」をスタート。燃費と事故削減の2部門で開催。(2019年度エントリー数:161件)
 燃費部門では提出された燃費データ、事故削減部門では開催期間中の年換算事故率を基に審査。部署単位での参加も可能にし、顧客が社内コンテストや表彰制度として活用できるなど、参加しやすいコンテストとしている。
 また、コンテストを促進するツールとしてステッカーやポスターを独自の交通安全ニュースとともに提供。



エコ&セーフティーコンテスト



継続実績と方策



評価ポイント

エコドライブの動機づけにつなげるテレマティクス機器の活用

運転の振り返りに全車両導入のテレマティクスを活用

テレマティクス機器を全車両に導入し教育に活用。運転診断による点数の明確化で管理者がドライバーのエコドライブ・安全運転を「ほめる」アプローチができ、社員のエコドライブや安全運転のモチベーション向上を図っている。
 さらに、専用のWEBページではテレマティクス機器が記録したデータから、自身の運転の見える化と振り返りができ、具体的な改善指導につなげている。
 高得点を取得するとポイントがたまり、プレゼントなどに応募できる特典があり、エコドライブへの動機づけの一助になっている。



テレマティクス機器を全車両導入



メルダスシステムエンジニアリング株式会社

所在地：愛知県名古屋市東区葵1-19-30
 業務内容：流通業(小売業)
 拠点数：9
 従業員数：144名
 車両数：52台
 活動実績：9年



ワンチームを目指して取り組むエコドライブ活動

販売会社のため、営業担当者による個人主体の業務が中心となることから、全社員が一つのチームとして活動する機会が少なかった。そのため、**全社員がワンチームとなって一つの目標に向かって成果を出せる活動**がしたいとの気運が高まりエコドライブ活動を開始。

毎月1回、独自のエコドライブ全社月報を発刊、部門・拠点単位での燃費実績や給油実績、エコドライブ実施状況、運転者別での燃費ベスト5などを掲載し、社内イントラネットを用いて周知することで全社員への浸透を図っている。

エコドライブ活動の成果

2016年度比

22.2%燃費向上
事故件数37.5%削減

受賞事業者の声

活動をはじめ9年でこの様な名誉ある賞を頂き大変嬉しく光栄に感じております。今後も更なる「環境に優しい企業」を目指し取り組んで参ります。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・ISO14001の活動として全社でエコドライブに取り組む	社有車台帳を作成し、3か月に1回の定期点検や、運転前の始業点検などを漏れなく行えるよう管理
	体制・目標	・社長がトップ、管理部長が推進責任者となり、ISO委員が実務を行いエコドライブ活動を推進	
教育の実施	環境問題	・独自の環境方針カードを全社員が携帯	外部講師を招き、年に1回交通安全並びにエコドライブに関する講習会を開催
	教育資料	・JAFや環境省などの教育資料を使用	
燃費管理	燃費管理	・ドライバーが給油した際に運転日報へ給油量、給油時の距離、燃費を記入し毎週提出したものを管理部で一括管理	全社有車の台数における平均燃費の前年比1%向上を目標として設定
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	・2013年度比で、36.1%燃費が向上(改善したことで5百万円/年のガソリン代を削減)	自社ホームページにエコドライブの取組内容を公開
	事故管理	・2016年度比で、事故件数が37.5%減少	
継続実績と方策	活動実績	・2011年より、燃費向上や交通事故削減を目的にエコドライブ活動を開始	安全運転とエコドライブについての喚起メールを月3回配信
	エコカー等	・ガソリン車からHV車への切り替えを促進しており、社有車の76.9%がHV車	
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組

取組体制の整備

評価ポイント

全社一丸となって取り組むエコドライブ活動の組織構成

全社員で取り組むエコドライブ活動

全社員が「ワンチーム」となり、一つの目標に向かって取り組むツールとしてエコドライブ活動に注力。

エコドライブ活動において事故減少やコストダウンなど明確な効果を出すため、社長をトップとしたエコドライブ推進組織を設置。

さらに、各拠点にエコドライブ推進担当者を配置することで、全社一丸となって活動を推進。また、エコドライブ活動のサポートとして、安全衛生活動やISO14001の活動などと連動。



エコドライブ推進組織

教育の実施

評価ポイント

多くの教育機会を設け社内のエコドライブに関するノウハウを向上させる工夫

社外講習を活用しつつ、社員を社内のインストラクターに認定

部門ごとに教育計画を策定し、地球環境に関する社内講習の実施や、自社環境方針カードを全社員が携帯するなど環境面からのエコドライブ教育に注力。

また、社内インストラクターを増員するため、会社として自治体やJAFが主催する「エコドライブ講習会」へ積極的に参加しており、社員のモチベーション維持やエコドライブ技術の向上を目指す工夫を継続的に実施。



エコドライブ講習会

教育の実施

評価ポイント

業務で運転しないドライバーも対象とした教育

Eラーニングを活用した社内のエコドライブ教育

月に1回、運転免許を持っている社員全員を対象に交通安全教育に関するEラーニングを実施。

カリキュラム内にはエコドライブに関する教育も含まれており、エコドライブが交通安全につながる点をわかりやすく啓発することで、会社全体のエコドライブ意識を向上。



Eラーニング

継続実績と方策

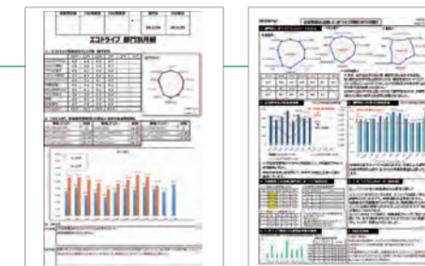
評価ポイント

部門ごとの燃費を集計しエコドライブの結果を全社員に周知

「エコドライブ全社月報」「部門別月報」を毎月発行

部門担当者ごとにエコドライブの実施状況をチェックシートに記入し、部門ISO委員が燃費実績と併せて取りまとめ、その結果を踏まえて上長がコメントを記載。その後、ISO事務局が全部門より集めた「エコドライブ部門別月報」を集計し、「エコドライブ全社月報」にまとめ全社員に展開。

さらに、コラムなども掲載し、エコドライブをより身近に感じられるよう工夫するなど、社員のエコドライブ意識の向上に貢献。



エコドライブ部門別月報 エコドライブ全社月報



DINS関西株式会社 GE事業所

所在地：大阪府西区築港新町一丁目5番38
 業務内容：廃棄物処理業
 拠点数：1
 従業員数：78名
 車両数：8台
 活動実績：14年



コミュニケーションを重視した堅実なエコドライブ活動

2006年よりエコドライブ活動を開始し、燃費データの管理や適切な車両整備などを着実に実行することで社員にエコドライブ意識が浸透するよう工夫。■**エコドライブの取組事例を社外で発表**するなど、対外的なエコドライブ活動の普及にも積極的に取り組む。
 さらに、2016年からは社有車だけでなく自家用車へもエコドライブ活動を拡大。また、全社員参加型の「環境ラリー制度」にエコドライブ活動の実施項目を追加。
 月に1回、各部署での「内部コミュニケーション」の場で意見交換を行うなど、社員のコミュニケーションを大事にしながらエコドライブ活動に取り組む。

エコドライブ活動の成果

2007年度比

**18.5%燃費向上
無事故継続
(すべての事故)**

受賞事業者の声

この度は優秀賞をいただき、誠にありがとうございます。2020年5月にDINS関西に社名変更し、同10月には近隣のグループ会社と合併いたしました。今後は、より大きな活動をめざし、エコドライブ活動に邁進します。

エコドライブ活動 主な基本取組

取組体制の整備	全体取組	・エコアクション21に認証登録、環境活動の一環としてエコドライブ活動を実施	空気圧点検やエンジンオイル交換などを時期/ルールを決めて実施
	体制・目標	・環境管理責任者を任命し、エコアクション21事務局担当者としてエコドライブ活動を推進	
教育の実施	環境問題	・社内でエコライフアイデアを募集し、環境意識を醸成	普通乗用車や大型車など車両特徴ごとの教育資料を使用
	教育資料	・年間計画に基づいた教育/訓練を実施	
燃費管理	燃費管理	・走行ごと、給油ごと、月ごとに走行/燃費データを記録	年間目標とは別に月間目標を設定し、細かく目標達成への進捗を管理
	燃費目標		
活動成果	燃費向上	・2007年度比で18.5%燃費が向上(2000cc以下)	エコドライブ活動以前より車両事故0を継続
	事故管理		車両事故ゼロ 継続中
継続実績と方策	対外活動	・ホームページにてエコアクション21環境レポートを掲載	
	活動実績	・2006年より活動開始	コネクティッドカーを導入し、走行データ燃費などをクラウドで管理
	エコカー等	・積極的に低燃費車を導入	走行データ燃費などを管理
	独自工夫		

エコドライブ活動 主な応用取組



教育の実施



評価ポイント

会社全体にエコドライブ意識を根付かせる
全社員参加型教育

全社員参加型でエコドライブに関する意見交換を実施

月に1回、エコアクション21委員会を開催し、燃費結果を含む環境活動の進捗状況などを共有。その内容は委員会後に各部署で開かれる「内部コミュニケーション」にて全社員に周知。

さらに、「内部コミュニケーション」では環境に関するテーマでの意見交換なども行われ、社員からの提案をエコアクション21委員会にて議論。全社員が積極的に発言できるよう雰囲気づくりに配慮しながら、環境意識を向上させる仕組みを整備。



エコアクション21委員会



教育の実施



評価ポイント

試乗を通してエコドライブ社員一人ひとりが当事者として
エコドライブ活動に取り組める工夫を知る機会・始める機会を提供

対象者を分けて社内外の講習会へ積極的に参加

年間計画に基づき、安全運転講習やエコドライブ講習を実施。

安全運転講習では、収集運搬業務を行うドライバーを対象に月に1回、ドライバー以外の社員を対象に年に1回社内講習を実施。運転するシチュエーションごとに対象者を分けて開催することで、一人ひとりが当事者としてエコドライブに取り組める環境を構築。

また、エコドライブ講習では「堺市生涯学習まちづくり出前講座」を受講し、ドライビングシミュレーターを活用した教育も実施。



堺市生涯学習まちづくり出前講座



活動成果



評価ポイント

社内取組にとどまらないエコドライブ・環境活動の啓蒙

エコドライブの取組事例を社外で発表

他社へのエコドライブ啓蒙のため、トラックの受け入れ場にてアイドリングストップを促す視覚的アナウンスを設置。

また、大阪府エコドライブセミナーや大阪産業大学エコビジネス論の講義にて、エコドライブ活動やエコアクション21の取組事例を発表。大阪産業大学での発表は、2015年から年に1回、2018年は年に2回と継続的に開催。

さらに、大阪自動車環境対策推進会議の取組事例集に掲載されるなど、社外に対するエコドライブ活動の普及にも積極的に取り組む。



エコビジネス論講義



継続実績と方策



評価ポイント

全社員参加で行うエコドライブ活動継続の工夫

環境活動をポイント化する独自の取組「環境ラリー制度」

各環境活動に応じた取組をポイント化し、評価する全社員参加型の活動「環境ラリー制度」を実施。自家用車の日常点検項目に加え、2017年より「自家用車を含む燃費の把握」を全部署統一の項目として採用し、マイカーでのエコドライブ活動にも注力。

また、毎年発行しているエコアクション21環境活動レポートにて「環境ラリー制度」を紹介。項目紹介と合わせて燃費の向上結果も記載。活動レポートはホームページ上でも公開しており、環境活動とともにエコドライブ活動を社外へ啓蒙。



環境ラリー制度

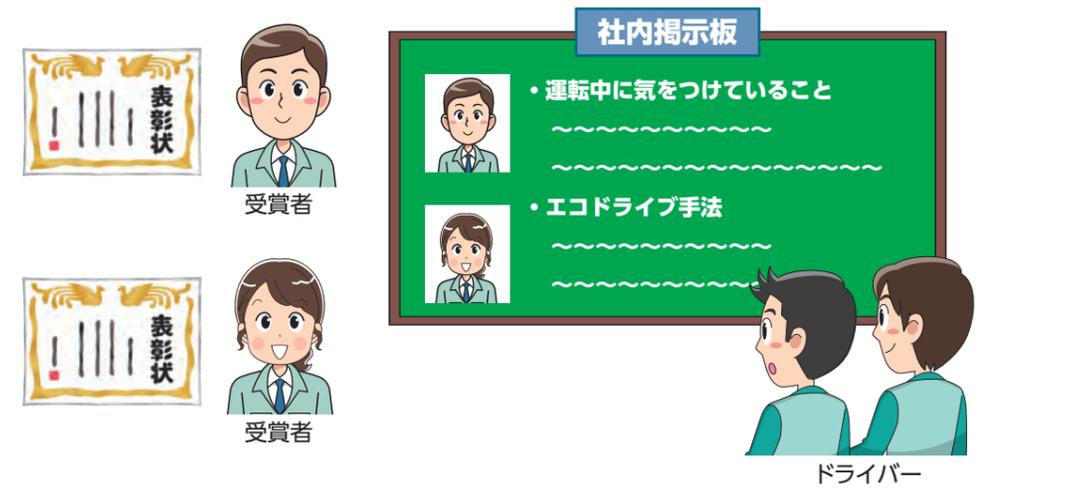
エコドライブ活動の基本取組 「活動成果」のイメージ

①社内表彰制度

社内における表彰制度は、ドライバーのモチベーションアップやエコドライブの徹底を図るためにも有用です。表彰基準を明確にし、社内に展開することで、目標の方向性も合わせることができます。

また、優秀なドライバーが運転中に気をつけていることなど、ノウハウを社内にて共有することで会社全体の燃費改善や事故削減にもつなげることができます。

運転状況の違いなどから不平等にならないよう、部門ごとで表彰を行うなどの工夫も有効です。



社内掲示板

- 運転中に気をつけていること
- エコドライブ手法

受賞者 (Award Recipient)

受賞者 (Award Recipient)

ドライバー (Driver)

②対外活動

自社のエコドライブ意識をさらに向上させるには、例えば、社外での取組事例発表などの対外活動を行うことも大切です。

対外活動には、自社の取組をHPなどで紹介するものから、顧客や地域住民を対象にしたエコドライブイベントの開催など様々な方法があります。社外の方がエコドライブを楽しめたり、身近に感じられる工夫をしましょう。

さらに、継続的に対外活動を実施することで、顧客や地域の方々などのエコドライブ意識を向上させることに加え、関係性の構築にもつながります。

社外にエコドライブを発信することで、自社の取組の見直しやエコドライブの大切さを再認識でき、社内でのエコドライブ活動をさらに発展させることができます。



(株)〇〇 エコドライブ活動の紹介

- ~~~~~
- ~~~~~
- ~~~~~
- ~~~~~

自社のエコドライブ取組内容を社外で発表

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例紹介 (都道府県順)

上位受賞事業者以外の特徴的な取組事例を紹介いたします。

▶ 勤続教習の実施

北海道中央バス株式会社 事業部門 優良賞

勤続5年ごとのドライバーを対象に、接遇や応急救護を含む基本的な運転訓練などの研修を実施。運転研修では、ドライバーがそれぞれのように危険を予測し回避しているかを互いに観察。観察内容はアンケートに記録し、グループディスカッションにて活用。旅客の立場に立ち、他のドライバーを評価することで、自らの運転を客観的に振り返るきっかけとなる。



▶ 物流魂競技会

株式会社ジェイアール東日本物流 事業部門 優良賞

技術の向上を目的とし、年に一度ドライバーが車両の点検技能や運転技術を披露する競技会を開催。審査内容にはエコドライブに関する項目も含まれており、ふんわり発進、急が付く運転をしていないかなどを減点法にて採点。この競技会を通じて会社全体のエコドライブ技術アップ及びしっかり点検で燃費向上を目指す。



▶ テレマティクス導入による危機管理体制の構築と教育の活用

株式会社エコワスプラント 一般部門 認定賞

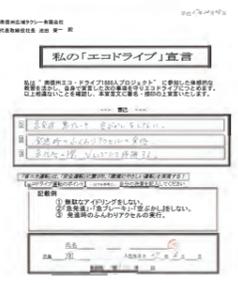
全車にテレマティクスを導入し、危険運転やエコドライブでない運転を検知した際は、社長および管理責任者へ即座に報告が入る。危機管理体制の構築により、ドライバーのエコドライブ意識の定着を図る。また、毎月全従業員の月間点数を社内に掲示するとともに、全社傾向を基に、翌月の重点ポイントを決定し、周知。テレマティクスを活用したエコドライブ教育に注力し、毎年優良なエコドライブ運転手を表彰。



▶ 私のエコドライブ宣言

南信州広域タクシー有限公司 事業部門 優良賞

新人研修時に、DVD鑑賞や指導員による実践で役立つエコドライブの運転方法などの研修を実施。研修後は学んだエコドライブのノウハウから3つのポイントをピックアップし、「私のエコドライブ宣言」として、宣言文を提出。プロのドライバーとしてエコドライブ意識の向上を図る。



▶ 日報カレンダーでの燃費管理

株式会社山運 事業部門 優良賞

ドライバー一人ひとりが毎日の経路と帰社時の給油量を運転業務日報に記入。記録した内容は事務所でデータ入力し、ドライバーごとに日報カレンダーを作成。カレンダーには過去1か月毎日の走行距離や給油量、燃費に加え、目標燃費に対するその日の達成率を星マークで表示。自身の燃費情報を一目で確認できる。



▶ 無駄走り申告シート

清水長金属工業株式会社 一般部門

ヒューマンエラーにより個別に車両を走らせる場合など、不必要な走行の発生を防止するため「無駄走り申告シート」を活用。各車両に常備されており、発生時は担当者自身が状況を記入し提出。また発生事象は一覧にまとめて管理。日時や原因に加え、燃料・人件費の損失も管理するなど、費用面の損失も可視化することで多角的に無駄防止の意識を醸成。

